

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.5

開催地：多良木町黒肥地2・3区

平成19年5月24日(木)、多良木町黒肥地2・3区において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

黒肥地2区公民分館にて開催された同報告会には、約20名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。

なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

町内	17名
町外	4名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本方針の説明について、どういった意見をのべたらよいのか。また、具体的な河川の整備について現時点でどういったことを考えているか、案があれば教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針は、長期的な河川整備の目標等の基本的な方針について定めたものです。 具体の河川整備の内容等については、今後作成する河川整備計画で定めることとしています。
<ul style="list-style-type: none"> 森林の洪水緩和機能とはどういうことなのか詳しく教えて欲しい。本当にこれ以上の機能の向上は見込めないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 例えば、宅地開発された土地と比較して、森林においては降った雨が土壌に浸透することなどにより、一部は土中に捕捉され、一部は土中をゆっくり流れることで河川に流れ込む水の量の変化を緩やかにする働きがあることが知られています。これを森林の洪水緩和機能と呼んでいます。 球磨川流域においては、経年的に森林の状態(樹種の割合等)の変化はあるものの、昭和20年代以降、降雨の流出形態に大きな変化は見られないことや、流域の約8割を森林が占めており、これ以上森林面積が増大することは見込まれないことから、現在の流出形態を前提として基本高水のピーク流量を算出することが妥当であると考えています。 基本高水のピーク流量等の治水計画は森林の存在を前提としていることから、治水上、我々河川管理者としても森林の保全は重要であると認識しているところです。
<ul style="list-style-type: none"> 今回の報告会で出た住民の意見を受けて、基本高水、計画高水が変えられる可能性があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、地球温暖化に伴う気候変動、森林の保水力等に関する新たな知見により、基本高水のピーク流量算出の前提条件が著しく変化することが明らかとなった場合には、必要に応じ基本方針の内容を見直すこととしており、この旨、基本方針にも明記されています。
<ul style="list-style-type: none"> 基本高水と計画高水の差の3,000トン/秒はダムに頼るしかないと言っているのは国土交通省は思っているのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 河道で安全に流し得る流量を検討した結果、人吉地点における計画高水流量を4,000m³/sと設定しました。そのため、同地点の基本高水のピーク流量7,000m³/sとの差分3,000m³/sについては、ダムや遊水地等による洪水調節で対応することになります。 具体の洪水調節施設については、今後、河川整備計画を作成する際に検討していくこととなります。

<p>【球磨川の治水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防、ダムが整備されて浸水被害は減ったが、環境は悪くなった。治水、利水、環境保全の3拍子がそろった河川整備の計画を作って欲しい。 ・川に上げ底のように砂利が溜まっており、洪水時に危険ではないかと思う。対策をどのように考えているのか。 ・鮎の瀬堰の上流左岸に堤防ができていない箇所がある。 ・大雨の時に球磨川の水位があがり、大久保団地の方から流れてくる水が吐ききれずに、内水被害が生じている。 ・多良木自動車学校のところには堤防をつくる計画があったが、市房ダムができてから整備をやめたと聞いた。 ・毎年水が出ていて、昨年、一昨年も避難をした方がいる。対策を考えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見のとおり、今後策定する河川整備計画の検討にあたっては、治水、利水、環境のバランスを十分考慮していく考えです。 ・報告会后、ご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきましたが、今後、堆積土砂が洪水時にどの程度影響を与えているか検討を行い、土砂撤去の必要性について判断したいと考えています。 ・治水対策が遅れていることにつきましては、大変申し訳なく思っております。今後、河川整備計画を策定する際に、上下流の治水バランスも考慮しながら、ご意見をいただいた箇所の堤防整備について検討していきたいと考えています。 ・報告会后、ご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきましたが、今後どのような対応ができるか検討したいと考えています。 ・報告会后、ご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただき、堤防整備が必要ではないかのご意見をいただきました。ご意見は今後策定する河川整備計画の検討時の参考にさせていただきます。 ・治水対策が遅れていることにつきましては、大変申し訳なく思っております。報告会后、ご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきましたが、浸水被害が頻発している王宮神社一体の内水対策について、当該地区を流れる牛繰川を管理する熊本県とも連携して検討していきたいと考えています。
<p>【球磨川の環境について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の球磨川を見るとききれいな石が一つもない。昔は石がピカピカ光っていた。鮎もたくさんいた。 ・最近、幸野溝や百太郎溝に水を取られてしまい川に水が無い。特に農繁期に水が少なくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の川のように戻すことは、なかなか難しいことだと思えますが、少しでも昔の川の姿に近づけるように、関係機関及び流域住民の方々と連携して、河川環境の改善に努めてまいりたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。 ・球磨川上流区間の流量が少ないことについては、関係者が問題認識を共有し、安定的な水利用と併せて河川環境の調和のために知恵を出していく必要があると考えており、今後の課題と認識しております。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載していません。